

全国リレーシンポジウム 知の地域づくりを考える 多摩市

日時 2016年6月18日(土)
13:30 ~ 16:00

会場 桜美林大学(東京都多摩市落合2-31-1)
多摩アカデミーヒルズ 2階「鳳翔」

【主催】公益財団法人 文字・活字文化推進機構

【共催】毎日新聞社 【後援】多摩市 多摩市教育委員会

プログラム

講演

「地域を大切にする — 読書環境と地方自治 —」

片山善博氏(慶應義塾大学教授 元総務大臣)

講演

「公共施設のアウトリーチ

～熊本県立劇場館長の経験から～」

姜 尚中氏(東京大学名誉教授)

パネルディスカッション

パネリスト

片山善博氏

姜 尚中氏

柳田邦男氏(ノンフィクション作家)

阿部裕行氏(多摩市長)

コーディネーター 太田 剛氏(図書館と地域を結ぶ協議会 チーフディレクター
慶應義塾大学講師)

出演者略歴

全国リレーシンポジウム
知の地域づくりを考える ⑩ 多摩市



講演講師・パネリスト

片山善博 氏 (かたやま・よしひろ) / 慶應義塾大学教授、元総務大臣

1951年岡山県生まれ。74年東大法学部卒、自治省に入省。能代税務署長、自治大臣秘書官、鳥取県総務部長、自治省固定資産税課長などを経て、99年鳥取県知事(2期)。2007年4月慶應義塾大学教授。10年9月から11年9月まで総務大臣。同月、慶應義塾大学復職。著書に『自治体自立塾』(日本経済新聞出版社)、『民主主義を立て直す』(岩波書店)ほか。

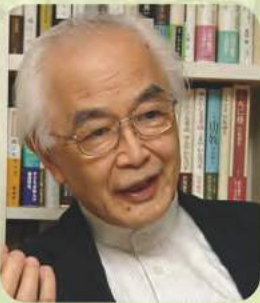


撮影/ホンゴユウジ

講演講師・パネリスト

姜 尚中 氏 (かん・さんじゅん) / 東京大学名誉教授

1950年熊本県生まれ。東京大学名誉教授。熊本県立劇場理事長兼館長。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『ナショナリズム』(岩波書店)、『姜尚中の政治学入門』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩け』、『心の力』、『悪の力』(以上、集英社)など。小説作品に『母—オモニー』、『心』(以上、集英社)がある。近著に『漱石のことば』(集英社)。



パネリスト

柳田邦男 氏 (やなぎだ・くにお) / ノンフィクション作家

1936年栃木県生まれ。現代における「いのちの危機」をテーマに数々のノンフィクション作品や評論を半世紀にわたって書き続けている。79年『ガン回廊の朝』で第1回講談社ノンフィクション賞、95年ノンフィクション・ジャンルの確立への貢献で第43回菊池寛賞など、授賞多数。最近、子ども心の発達と絵本の重要性についてのメッセージを発信している。近著に『自分を見つめるもうひとりの自分』(佼成出版社)。



パネリスト

阿部裕行 氏 (あべ・ひろゆき) / 多摩市長

1956年東京都生まれ。79年日本大学法学部卒。79年に日本新聞協会に入職し、09年同協会事務局次長を経て、10年4月に多摩市長に初当選し、現在2期目。原発に代わるエネルギーを大事にすることを謳った「非核平和都市宣言」、性自認、性的指向などを盛り込んだ「女と男の平等参画を推進する条例」、官製ワーキングプアを生まない「公契約条例」を制定。多摩ニュータウンの再生、健幸都市をめざし奮闘している。



コーディネーター

太田 剛 氏 (おおた・つよし) / 図書館と地域を結ぶ協議会チーフディレクター
慶應義塾大学講師

1965年茨城県出身。明治大学農学部卒。高校理科教師を経て90年より編集工学研究所(松岡正剛所長)に入社。12年、株式会社ギア(編集工学機動隊)を設立。北海道幕別町や栃木県茂木町の図書館プロジェクトを推進。現在は、図書館を地域づくりの核として位置づけ、新しい社会循環モデルの構築、ICTの有効活用による地域コンテンツと人材のアーカイブ化などをコーディネートする「図書館と地域をむすぶ協議会」を設立し、全国を奔走中。